

自社の決算書の見方が変わる！ 中小会計要領セミナー開催

ACTIVE KUMIAI



講師の初鹿武仁税理士

解りやすく経営判断や改善に活かすことができ、資金調達の円滑化や取引の拡大を図るために金融機関や取引先の評価を得やすくすることを目的に定められたもの。

今回のセミナーは、この要領の内容を理解してもらいながら、経営者の会計や決算に対する理解と積極的な事業展開に取り組んでもらおうと企画された。

当日は初鹿武仁税理士を講師として、経営者自身が知っておかなければならない決算書のポイント、経営改善につながる売上予算や利益計画の立て方、現預金に余裕をもった経営を行うための資金繰り表の作成の重要性などについて学んだ。

参加した組合員からは、業種により特に注意すべき決算書上の数値や建設業界における「経営審査」を受ける上で有効な会計処理、金融機関による経営状況の注視箇所などについて積極的に質問があった。

橋田和俊理事長は、「決算書は単なる結果ではなく、経営を行う上で重要なヒントが秘められていることが理解できた。さらに企業の経営改善や体質強化に役立つ管理データの活用方法について学ぶことができ組合員企業の今後の経営に活かす研修となった。」と語っている。

中央会では、引き続き「中小会計要領」や「消費税対策」など各種出前研修を行っていますので、研修事業として利用したい組合がありましたら、お申し出ください。



組合員企業代表者・経理担当者が参加した